

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	3月10日(土)	映 画 会	土 木 学 会	2月号本文119ページ
	4月14日(土)	映 画 会	同	本号本文147 "
	5月12日(土)	第4回海洋開発シンポジウム	同	本号本文148 "
	5月29日(火)	第59回通常総会	東 京	本号本文146 "
東 北 支 部	6月1日(金)	昭和48年度東北支部総会	仙 台 市	本号本文150 "
関 東 支 部	3月16日(金)	「武蔵野線試乗」と見学会	関 東 地 区	本号本文150 "
	4月26日(木)	第10回通常総会	東 京	本号本文150 "
中 部 支 部	4月19日(木)	昭和48年度中部支部総会	岐 阜 市	本号本文151 "
関 西 支 部	3月15日(木) ～16日(金)	構造工学講習会(長大橋梁の諸問題)	大 阪 市	2月号本文120 "
	3月19日(月) ～20日(火)		同	2月号本文121 "
	4月27日(金)	学生見学会(淀川地区)	同	本号本文151 "
	6月1日(金)	昭和48年度年次学術講演会	同	1月号本文155 "
中国四国支部	5月24日(木) ～25日(金)	支部総会, 年次学術講演会	松 江 市	本号本文152 "
西 部 支 部	3月15日(木)		新 材 料 新 工 法 発 表 会	福 岡 市
そ の 他	4月4日(水)	第18回材料強度と破壊国内総合シンポジウム	同	1月号本文146 "
	4月17日(火) ～18日(水)		第10回理工学における同位元素発表会	同
お 知 ら せ	<ul style="list-style-type: none"> ■土木学会昭和48年度全国大会・第28回年次学術講演会実施要領 ■土木学会名簿発行経費の一部負担ご協力をお願い ■土木学会出版図書価格改訂について ■昭和48年度用学校教材の頒布について ■評議員選挙告示 ■理事ならびに監事選挙告示 ■関東地震50周年記念地震工学シンポジウムの開催と発表論文の募集 ■地震工学研究発表会についてのお知らせ ■第20回海岸工学講演会講演募集 ■「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集 ■地域計画学研究の将来計画第2回シンポジウム 			本号綴込 1 " 本号綴込 2 " 本号綴込 3 " 本号綴込 4 " 本号本文 146 " 本号本文 146 " 本号本文 146 " 本号本文 147 " 本号本文 148 " 本号本文 149 " 本号本文 150 "

支 部 所 在 地

- 北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階(電 011-251-7038, 261-7742)
- 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
- 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
- 中部支部：郵便番号 450・名古屋市中村区笹島町1丁目 232番地 近畿日本鉄道(株)
鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 (電 052-582-3311・内線 251)
- 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
(電 06-271-6686)
- 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
- 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号 (電 092-78-3716)

第 59 回通常総会のお知らせ <於東京>

▶ 5 月 29 日 (火) ◀

昭和 48 年度通常総会は、下記のとおり東京において開催致しますのでお知らせします。

1. 日 時：昭和 48 年 5 月 29 日 (火) 13.30～18.00
2. 場 所：農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階)
(地下鉄丸の内線大手町駅淡路町寄り改札口より農協ビル地下 1 階に直結しております)
3. 総 会：13.00～15.00
 事業報告
 決算報告
 名誉会員の推挙
 土木学会賞の授与
 新役員の紹介
4. 特別講演：15.00～16.00 国土開発の方向について 建設省事務次官 坂 野 重 信
5. 懇 親 会：16.15～18.00 農協ビル 8 階第 2 大会議室 (会費 1500 円)

評 議 員 選 挙 告 示

昭和 48 年評議員選挙を各支部ごとに 4 月末日までに執行いたします。各支部の評議員定数は、48 年 1 月 31 日現在における各支部所属会員数 (土木学会規則第 18 条) に比例、按分した結果下記のとおりです。

支 部 名	北海道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評 議 員 数	5	6	43	11	21	7	7	100

理事ならびに監事選挙告示

昭和 48 年理事ならびに監事選挙を 48 年 4 月末日までに執行いたします。

関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウムの開催と発表論文の募集

本年は関東地震の 50 周年にあたりますので、50 周年を記念すると同時に地震工学の今後の発展に資すべく記念シンポジウムを催すことになりました。今回のシンポジウムは従来の国内シンポジウムと変り、現在地震工学の新しいテーマのうち 3 つを選び、これに関する論文発表と、地震工学の過去からの発展と将来の展望についての二、三の特別講演を企画してみました。

今回のシンポジウムの開催に当って、海外研究者の有志にも参加できるように国内と同時に国外にも開催、論文募集の発表を致し、研究情報交換の場とすると同時に 50 周年記念シンポジウムを有意義なものにしたいと考えました。会員各位には下記規定をご参照のうえ、ふるってご応募下さい。

主 催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

(1) 開催予告

1. 日 時：1973 年 8 月 31 日 (金)、9 月 1 日 (土)
2. 場 所：東京 (決定次第お知らせします)

3. シンポジウムの内容：論文発表，特別講演
- (2) 発表論文の募集
1. 発表論文の内容：次のいずれかのうち，最近の研究に属するもので，なるべく総合的な研究が望ましい。
 - a) 構造材料および部材の動的挙動
 - b) 土と構造物の相互作用
 - c) 有限要素法と地震工学への応用
 2. 応募の方法：
 - a. 論文提出希望者は，1973年4月30日までに，所属学会，氏名（ローマ字付記），勤務先（英文付記），職名，連絡先を明記のうえ邦文約800字または英文約400語の内容梗概を，今回の幹事学会である下記へ提出する。
土木学会：東京都新宿区四谷1丁目（〒160）
 - b. 論文の応募は，共著のものを含み，1名につき1編以内を原則とする。共著の場合は発表者を明記すること。
 - c. 発表論文の採否は，応募全論文数，発表時間等をも勘案してシンポジウム運営委員会が決定し，すみやかに応募者に通知する。
 - d. 採択された論文の著者は，1973年6月末日までに，論文の原稿に投稿料1編につき3000円を添えて，当学会または幹事学会に提出する。
 - e. 論文原稿の体裁は，採否の通知と同時に採択された論文の著者に連絡するが，用語は日本語または英語とし，日本語の場合は10000字程度，英語の場合は4000語程度以内に収まるよう，所定の用紙にタイプ印字する形式となる予定である。ブローディングスはこの原稿をオフセット印刷して，シンポジウム開催時に配布する。

地震工学研究発表会についてお知らせ

例年7月に開催しておりました“地震工学研究発表会”は，本年8月31日～9月1日に“関東地震50周年記念地震工学シンポジウム”が開催されますため，本年は開催致しませんのでご了承願いたく，お知らせ致します。

映画会開催について

▶ 4月14日（土） ◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
 2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 4月は14日（土）です。
 3. 上映作品：今月は海外工事の映画を上映致します。

「豊かな収穫を求めて」	鹿島建設（株）提供
「ベトナムのエネルギー」	
「拓けゆくインドネシア」	
 4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。
本映画会に関する問合せは，土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
- 共 催：土木学会関東支部

土木技術者のための岩盤力学〈三版〉

●定価 3600円・会員特価 3250円（〒200円）●

▶申込先：土木学会刊行物係もしくは全国書店。ただし書店の場合は会員割引の特典はございません。一括して学会へご注文される場合は送料が安くなりますのでご相談下さい。

第 4 回 海洋開発シンポジウム開催について

▶ 5 月 12 日 (土) ◀

下記により第 4 回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数の参加を希望致します。なお、参加希望の方は 4 月 30 日までに官製ハガキで、勤務先、勤務先住所、所属部、課、氏名、第 4 回海洋開発シンポジウム参加希望と明記のうえ、新宿区四谷 1 丁目社団法人土木学会・海洋開発委員会宛お申し込み下さい。

1. 日 時：1973 年 5 月 12 日 (土) 9.30～17.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂 (国電四ツ谷駅徒歩 3 分、外濠公園内)
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. 講 演 集：当日実費頒布
5. 参 加 方 法：上記によりお申し込み下さい。
6. プログラム：

9.30～9.40	開会挨拶	海洋開発委員会委員長	本 間 仁
9.40～10.10	沿岸漁場整備の最近の動向	水産庁漁業振興課	伊 原 弥一郎
10.10～10.40	水産における海洋開発について	農林省農業土木試験場	中 村 充
10.40～11.10	感潮狭口のタイダルプリズムについて	室蘭工業大学	近 藤 淑 郎
11.10～12.00	(特別講演) 海水の淡水化技術の動向と将来	通産省工業技術院	菊 地 邦 雄
12.00～13.00	昼 食・休 憩		
13.00～13.30	レジンコンクリート系多目的ポンツーン	(株) 開発機構	波 木 守
13.30～14.00	500t 埋設アンカーの設計と施工	(株) 間 組	○下 村 嘉平衛 橋 内 勝 美
14.00～14.30	多列円柱構造物に作用する潮流力に関する研究	三菱重工業 (株)	(未 定)
14.30～14.40	休 憩		
14.40～15.10	海洋油田開発における固定式プラットフォームの計画、設計および建設作業の問題点と手順	日本オイルエンジニアリング (株)	○山 下 敢 一 鈴 木 正 宏
15.10～15.40	海洋構造物の腐食と電気防食の適用例ならびに防食効果について	中川防蝕工業 (株)	中 川 雅 央 ○寛 健 彦
15.40～16.10	本四架橋における海中掘さくについて	本州四国連絡橋公団	古 閑 新 也
16.10～16.50	(特別講演) 国際 ECOR・日本委員会・海底開発委員会のとりまとめた現時点での日本の海洋工学技術の現状と問題点	ECOR 海底開発委員会委員長 (新日本製鉄株式会社) 比田 正 副委員長 (株式会社大林組) ○松 石 秀 之	
16.50～17.00	閉 会 挨拶	海洋開発委員会委員長	本 間 仁

第 20 回 海岸工学講演会講演募集

第 20 回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。

なお締切期日に遅れたものは受付られませんのでご注意ください。

7. 開 催 期 日：1973 年 11 月 14 日 (水)、15 日 (木)
2. 場 所：第 1 会場：愛知県産業貿易会館 4 階第 1 会議室 (名古屋市中区丸の内 3 丁目 1 番 6 号) 予定
第 2 会場：愛知県婦人文化会館講堂 (名古屋市中区三の丸 1 丁目 2 番地) 予定
3. 講演申込締切：1973 年 5 月 31 日 (木) 必着
4. 講演原稿締切：1973 年 7 月 16 日 (月) 必着
5. 講演募集要項：
 - (1) 講演申込みの際には、次の事項を記載して下さい。
 - ① 講演題目
 - ② 著者名 (連名の場合には登壇者に○印をつける) ならびに職名および連絡先住所
 - ③ 刷上り予定ページ数
 - ④ 論文要旨 (800 字程度)
 - (2) 同一内容の講演を一緒に 2 以上申し込むことおよび同一著者が重複して登壇するものは受付けません。
 - (3) 原稿 1 編の長さは原則として 5 ページ以内 (350 字詰原稿用紙 30 枚以内 (図、表、写真を含む)) と致します。

- (4) 原稿の内容により5ページ以内に収録することが困難な場合は著者に実費(超過1ページにつき7500円)を負担していただきます。
- (5) 講演の採否については、海岸工学委員会にご一任下さい。

「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集 (第20回 橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は昨年のようなパネル討論会のほか、一般報告も企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日: 1973年11月13日(火)
2. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
3. 主 催: 日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. テーマの内容:

近年、有限要素法の応用、電子計算機の効果的利用などともなう構造解析は一段と高度化、精緻化してきた。他面、そのような解析結果の設計への反映、実構造物の挙動との関連などの点においてはまだ、問題が多く残されており、反省すべき点も少なからず存在すると考えられる。このような観点から、設計のための解析という見地に立って、次の4つのサブテーマに適合する研究発表を対象とする。

(1) 解析方法または解析計算の評価

- a) 数値解析におけるモデル化の妥当性、精度の評価、あるいはどのような条件において有限要素法、マトリクス解析、差分法などがその長所を発揮するのか、というような問題。
- b) 設計に反映されるような実験解析手法とそれに関連した問題。
- c) 構造、材料の非線形解析あるいは立体解析を行なった場合、設計条件あるいは設計結果との関連。
- d) 自動設計あるいは Computer-aided Design なる手法が近年開発されつつあるが、それが設計に反映される場合の問題。

(2) 実際構造物の挙動と解析仮定の評価

実際構造物の挙動の実測あるいは調査の結果から、解析の仮定あるいは解析計算の精度などを論じたもの。

(3) 異種構造要素間の相関性解析の評価

- a) 上部構造と下部構造または基礎との相関
上部構造の解析は独立して扱われることも多いが、それを支持する下部・基礎構造の影響を解析に考慮した場合、設計の結果にどのように反映されるか。
- b) 異種構造要素間の相互作用の設計への影響
たとえば橋梁では主部材と二次部材との相関、あるいは建築ではコア、骨組み、スラブ間の変形適合性にもづく相互作用を考慮した解析を行なう場合、おのおの独立に扱った場合にくらべて設計にどのような差異を生じるか、あるいはどのような影響を互いに及ぼし合うか。

(4) 二次的効果の設計解析における評価

いわゆる二次応力の役割、有限変形の影響などは構造物の大型化、複雑化、複合化ともなう設計上重要な影響をもたらす場合がある。これらの影響に関連した諸問題を扱う。

5. 申込要領:

- 1) 7月末までに論文題目、発表者氏名(連名の場合、登壇者に○印を付ける)、勤務先および連絡先と、100字程度の内容梗概を添えて、所属学会宛お申込み下さい。
- 2) 採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうちは、9月20日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。
- 3) 発表された研究はさらに選考のうえ、欧文論文集として刊行すべく、論文原稿の執筆をお願いすることがあります。

地域計画学研究の将来計画 第2回シンポジウム

国土、都市、農村におけるさまざまな問題の激化に対して、地域計画学研究の拡大、研究体制の確立が、重要な社会的課題になっています。日本学術会議でも、第9期に国土問題特別委員会を設置するとともに、数年来、都市計画分科会（都市計画学、土木工学、建築工学、造園学を中心に構成）において、地域計画学の将来計画の検討をすすめてきました。1970年の東京、名古屋、大阪での将来計画シンポジウムにつづいて、今回さらに第2次案について、第2回シンポジウムを下記のごとく開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日時と会場：東京シンポジウム：1973年4月20日（金）13.30～16.30
 （日本学術会議会議室：東京都港区六本木 7-22-34 TEL 403-6291）
 名古屋シンポジウム：1973年5月11日（金）13.30～16.30
 （名古屋大学工学部4号館2階小会議室：名古屋市千種区不老町 TEL 781-5111）
 大阪シンポジウム：1973年5月18日（金）13.30～16.30
 （大阪科学技術センター会議室：大阪市西区靱 1-118 TEL 443-0538）
2. テーマ：地域計画学の将来計画について
3. 資料：地域計画学の将来計画（第2次試案、プリント当日配布）
4. 主催：日本学術会議第5部安全工学研究連絡委員会都市計画分科会
 委員長 西山 卯三（京 大）
 委員 入沢 恒（横浜国大） 大庭 常良（国学院大） 新谷 洋二（東 大）
 長尾 義三（京 大） 横山 光雄（日 大） 三村 浩史（京 大）

東北支部行事案内（郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階） 電 0222-22-8509

昭和 48 年度東北支部総会

▶ 6月1日（火）◀

1. 日 時：1973年6月1日（金）17.00～
2. 場 所：セントラルホテル8階（仙台市青葉通）
3. 議 題：① 昭和47年度事業報告および決算報告 ③ 役員改選の報告
 ② 昭和48年度事業計画および予算の報告 ④ その他
4. 映 画：題（未定）

◎ この会告をもって総会開催の通知といたします。なお総会后 18.10 より懇親会を催します（会費 1000円）。準備の都合がありますから、総会ならびに懇親会に参加の方は5月29日までにお知らせ下さい。

関東支部行事案内（郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内） 電話 03-351-4133

(1) 「武蔵野線」試乗と見学会

▶ 3月16日（金）◀

本年4月より営業を開始する、武蔵野線の操作場その他見学と試乗を下記により実施いたします。多数ご参加下さるよう、ご案内いたします。

1. 日 時：1973年3月16日（金）13.00～16.30（予定）
2. 集合場所：京浜東北線西浦和駅か常盤線馬橋駅（予定）
3. 参加費：無料（定員50名）
4. 申込方法：希望者は、はがきに氏名、勤務先、連絡先（電話番号も）を明記して、関東支部宛お申し込み下さい。なお、日時、集合場所は決定次第、ご連絡いたします。

(2) 関東支部第10回通常総会

▶ 4月26日（木）◀

1. 日 時：1973年4月26日（木）16.00～18.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 議 題：1) 昭和47年度事業報告および決算報告の承認

- 2) 昭和 48 年度事業計画および予算の報告
- 3) 商議員改選の承認
- 4) 映画 (最新版予定)

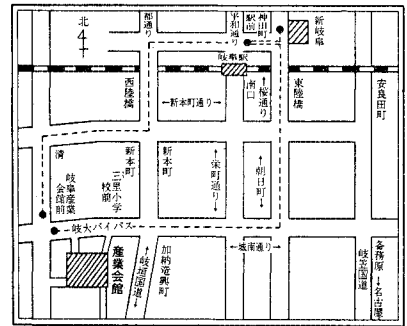
◎この会告をもって、総会開催通知といたします。支部会員多数ご出席下さるよう、ご案内申し上げます。

中部支部行事案内 (郵便番号 450 名古屋市中村区笹島町 1-232 近畿日本鉄道(株)鉄道総局 名古屋営業局施設部庶務課内 電 052-582-3311 内線 251)

昭和 48 年度 中部支部総会

▶ 4 月 19 日 (木) ◀

1. 期 日: 1973 年 4 月 19 日 (木)
2. 場 所: 岐阜産業会館 岐阜市六条 1337 の 1
3. 行先案内: 岐阜駅前より市営バス①および ②「県庁」行にて「産業会館前」下車、徒歩 5 分 バス所要時間 15 分
4. 総 会: 10.00~11.00
 - ① 開会 の 辞
 - ② 旧支部長挨拶
 - ③ 新支部長挨拶
 - ④ 会 務 報 告
5. 特別講演: 11.10~12.40
 - ① 岐阜県の土木事業について
岐阜県土木部長 伊藤 典雄
 - ② 環境問題におけるセメント・コンクリートの役割について
岐阜大学教授 大浜 文彦



< 産業会館への案内図 >

6. 見学会: 13.00~17.00 (車中で弁当支給)
 - ① 見学先 中央自動車道 多治見~端浪間舗装工事現場
 - ② 行程 13.00 産業会館出発→一宮 I.C.→多治見 I.C.→中央自動車道多治見~端浪間舗装工事現場着: 概況説明, 見学 国道 19 号線 多治見 I.C.→一宮 I.G.→国鉄岐阜駅着解散 17.00 (名古屋駅西口へ回送)
 - ③ 会費 300 円 (定員) 100 名
 - ④ 参加申込 土木学会中部支部へ 4 月 14 日 (土) までに会費を添えてお申し込みください。
(注) 納入後の会費は払い戻しいたしません。
7. 懇親会: 18.30~
 - ① 場 所 恵那市 金竜館
 - ② 会 費 3300 円 (見学会費, 宿泊費共)
 - ③ 申込先 土木学会中部支部へ 4 月 14 日 (土) までに会費を添えてお申し込みください。
(注) 懇親会参加者のために、バス 1 台を総会会場から見学コース經由懇親会場へ仕立てます。

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館 409 号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番)

昭和 48 年度第 1 回学生見学会 (淀川見学会)

▶ 4 月 27 日 (金) ◀

1. 期 日: 1973 年 4 月 27 日 (金)
2. 見学先: 毛馬洗堰, 淀川大堰, 淀川河川公園, 三川合流点, 淀川ダム統合管理事務所
3. 集 合: 4 月 27 日 9 時 15 分までに阪神電鉄本社前 (大阪中央郵便局西入南側 国鉄大阪駅西南)
4. 行 程: 9 時 30 分阪神電鉄本社前発—10.00 毛馬洗堰および淀川大堰ケーソン工事見学 11.00 発—11.30 枚方大橋下流部着, 淀川公園見学, 昼食 12.30 発—13.00 三川合流点見学 13.30 発—14.30 淀川ダム統合管理事務所見学 15.00 発—16.00 大阪駅着, 解散
車中説明者: 近畿地方建設局淀川工事事務所工務課長 広田泰久

5. 参加費：500 円
6. 定 員：50 名
7. 参加者資格：土木学会学生会員（関西地区）
ただし申込期限までに入会手続のすんだ方および大学院学生の正会員も有効
8. 申込期限：1973 年 4 月 12 日（木）
9. 申込要領：参加希望者は学校名、氏名を明記し、参加費を添えて各学校の学生班長を経由のうえ申込期限までに土木学会関西支部へお申し込みください。申込期限内に定員を超過したときは、学校別に人員の割当てをいたしますからお含みおきください。
学生班長は申込順位番号を付けて一括申し込んでください。
10. そ の 他：昼食は各自ご持参ください。

(付) テキスト頒布

「掘削・土留工事の基礎的な問題」講習会資料	頒価 600 円	送料 135 円	(残部僅少)
(地盤調査、薬液注入工法、土留工法、地下水低下工法の 4 点 1 組)			
水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題	〃 1 800 円	〃 130 円	
騒音・振動公害——測定と評価の問題点とその動向——	〃 1 500 円	〃 130 円	
都市廃棄物の処理と処分	頒価 1 000 円	送料 100 円	
土木工事における土中水の扱い方	〃 1 800 円	〃 130 円	
工程管理（演習問題解答付）	〃 1 800 円	〃 160 円	(残部僅少)
シールド工法研究会資料	〃 200 円	〃 90 円	
(地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点の 2 点 1 組)			
公害振動測定法（案）	〃 無 料	〃 60 円	
昭和 47 年度関西支部年次学術講演概要	正 会 員	〃 500 円	〃 160 円 (残部僅少)
	学 生 会 員	〃 300 円	〃 160 円
	非 会 員	〃 800 円	〃 160 円
昭和 46 年度関西支部年次学術講演概要	正 会 員	〃 200 円	〃 160 円 (残部僅少)
	学 生 会 員	〃 100 円	〃 160 円
	非 会 員	〃 700 円	〃 160 円
工事の安全対策	〃 600 円	〃 130 円	
近畿開発と大型土木プロジェクト	〃 350 円	〃 100 円	
写真測量とその応用	〃 700 円	〃 130 円	

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内)
電話 0822-21-2666

(1) 昭和 48 年度中国四国支部総会、特別講演会、第 25 回学術講演会

1. 日 時：1973 年 5 月 24 日（木） 9.00～12.00 } 学術講演会
5 月 25 日（金） 9.00～12.00 }
5 月 24 日（木） 13.00～13.30 支部総会
5 月 24 日（木） 13.30～17.00 特別講演会
2. 会 場：鳥根県民会館 松江市殿町 163（電（0852）22-5522）
3. 参加費：無料
4. 特別講演会・学術講演会プログラムは 4 月号に掲載予定

(2) 見 学 会

▶ 5 月 25 日（金）◀

1. 日 時：1973 年 5 月 25 日（金）学術講演終了後 13.30～17.30
2. 参加費：500 円
3. 申込方法：希望者は氏名・連絡先を明記のうえ会費をそえ（現金書留）支部事務局までお申し込み下さい。
申込期限：5 月 15 日

4. 申込先：〒730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内土木学会中国支部（電 0822-21-2666）
5. 見学コース：松江（会場前）～島根原子力発電所～出雲大社～日御崎～出雲駅前～松江（駅前）帰着（17.30 頃の予定）
6. 定員：50 名（申込先着順・定員になり次第締切ります）

西部支部行事案内 （郵便番号 810 福岡市中央区薬院 2 丁目 14 番 21 号）
電話 092-78-3716

新材料新工法発表会

1. 日時：1973 年 3 月 15 日（木）9.00 から
2. 会場：福岡市天神 1 丁目 福岡ビル 9 階ホール
3. 入場無料：資料当日入場者にさしあげます

開場：9.00

開会のあいさつ

9.00～10.00 鋼管の新しい継手について

10.15～11.05 深海における海底配管法

11.10～12.00 CCP 工法（軟弱地盤硬化、防水工法）

12.00～13.00 昼食（食事お楽しみ早目に会場におもてり下さい）

13.00～13.50 鋼管杭の現場継手全自動溶接

13.55～14.45 大径鉄筋スミバー D51 について

14.50～15.40 プレファブ橋梁の新工法

15.45～16.35 コーラルの特性と軟弱地盤におけるコーラル工法について

土木学会西部支部長 内田 一郎

川崎製鉄建材開発部部長代理 嶋 文 雄

新日本製鉄福岡営業所部長代理 熊 谷 喜次郎

日産フリース社長 中 西 渉

日本鋼管市場開発部建材開発室 斎 藤 正 義

住友金属工業建設プロジェクト部主任部員 菅 野 高 夫

神戸製鋼所建設工事開発本部橋梁部材担当部長 駿 河 敏 一

日本コーラル工業社長 橋 本 栄 一

土木計画学シンポジウム ●土木計画学研究委員会編●

1 1967・1 開催 ●総論／八十島 義之助・加納治郎

B5・134 ●700円（〒140 円）
●米谷栄二 ●土木計画手法に関連して／吉川和広・佐佐木綱・五十嵐日出夫・佐用泰司・渡辺新三 ●総合計画に関連して／川北米良・秀島敏彦・井上 孝 ●総合開発と社会開発に関連して／西川 喬・石原安雄・山本剛夫・鈴木忠義・高橋 裕 ●交通計画に関連して／内田一郎・長尾義三・毛利正光・多谷虎男・天野光三・小川博三

2 1967・11 開催 ●第 1 回シンポジウムのまとめ

B5・112 ●700円（〒140 円）
●米谷栄二 ●水資源計画／佐々木和彦・北野 章 ●交通計画／立花文勝・星野哲三・長尾義三・新谷洋二・加藤 晃 ●都市計画・地域計画／毛利正光・大塚友則・渡部与四郎

3 1969・1 開催 ●第 2 回シンポジウムのまとめ

B5・132 ●700円（〒140 円）
●米谷栄二 ●土木計画の考え方／幹事会 ●道路工学・交通工学の事例／枝村俊郎 ●景観計画における計量化／鈴木忠義・村田隆裕 ●道路計画における計量化／山根 孟 ●鉄道貨物輸送における設備計画と計量化／菊池 宏 ●全国幹線交通モデルの開発／伊藤 博 ●港湾計画における計量的手法例／小池 力 ●構造物の設計における安全率／島田静雄 ●上下水道計画における計量化と問題点／末石富太郎 ●

<品切れ近し>

4 1970・2 開催 ●第 3 回シンポジウムのまとめ

B5・88 ●700円（〒140 円）
／小川博三 ●土木計画学へのシステムアプローチ 1. 序論 2. 土木計画学の位置づけ 3. 計画システムとは何か 4. 従来のシステムアプローチ 5. 本シンポジウムにおけるシステムアプローチ 6. 水計画と交通計画における現象システムの共通性 7. サブシステムの構成と手法 8. まとめと今後の問題／委員会 ●第 4 回シンポジウム当日の討議／委員会 ●

5 1971・1 開催 ●土木計画の評価システム／委員会

B5・108 ●900円（〒140 円）
●1. 土木計画学シンポジウムの歩み 2. 今回のシンポジウムの役割 3. 土木計画における評価システム 4. 苫小牧港のケーススタディ 5. 道路計画における評価システムの検討 6. 水資源計画における評価システム 7. 新市街地開発における計画の評価システム 8. 総括報告／委員会 ●第 5 回シンポジウム当日の討議／委員会 ●

6 1972・1 開催 ●第 5 回シンポジウムのまとめ

B5・110 ●1100円（〒140 円）
／委員会 ●計画プロセスのパネルディスカッション 1. 土木計画における評価 2. 都市内の道路計画 3. 水質保全からみた下水道施設計画／委員会 ●評価のための分析モデル 1. 今回のシンポジウムの役割 2. 分析モデル／委員会 ●第 6 回シンポジウム当日の記録・とりまとめ／委員会 ●